



市民ネットワーク 議会通信

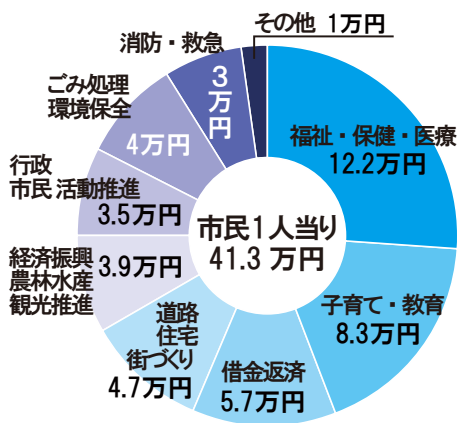
2017年
千葉市議会第3回定例会
9月5日～9月29日



2016年度の決算を認定

ついに脱・財政危機宣言の解除 しかし依然として財政は厳しい

2016年度
市の支出を市民1人あたりにすると



市のお金の使い道を市民にもわかりやすく説明してあります。ぜひご覧ください。



千葉市 HP「みんなの財政」→

財政健全化の進捗、住みやすいまちづくりの実現、市民参画が図られたかに着目し、一部不十分な点があるものの着実に財政健全化が図られていることを評価し、認定しました。48億円の実質収支を確保。借金は未だ多額ですが、政令市ワーストの汚名は返上です。

市立病院では資金が不足

病院会計では2016年度、初めての資金不足2,306万円が生まれました。ここ数年の赤字継続に加え、心臓血管外科の手術ができず（2014年に海浜病院で起きた死亡事例により）、収入が減少し、厳しい経営状況です。今年度、策定される次期千葉市立病院改革プランにおいて抜本的な改革が必要です。

借金残高は一人当たり104万円

市債（借金）は、6年連続で100億円以上削減したものの、未だ1兆61億円。市債は、長期間使う公共施設の建設費等を、将来世代にも負担してもらうため、必要な借金です。しかし、過去に積み上げた借金を返すのを優先し、現在はインフラ整備や施設の大規模改修のために借入れるお金や債務負担行為（*）を制限している状況です。将来への投資も必要最低限は行いながら借金を返済するバランス感覚が求められます。 *複数の年度にまたがって事業を行う場合に、将来の支出を確保しておくこと。

決算審査特別委員会 議員が部局別の分科会に分かれ、決算についての質疑を行いました。

総務分科会

渡辺 忍

オリンピック・パラリンピックに向け、障がい者スポーツに触れる機会を増やすためのパラリンピアン学校訪問を評価し、保護者や地域住民も参加できるよう求めました。

地震ハザードマップの全戸配布により、防災意識を高めたこと評価しました。また、熊本地震への職員の現地派遣等を行って得た経験を防災体制強化へ活かすこと、防災備蓄品については、日常食のローリングストック(*)や、家族構成に合わせた備蓄を行うなど自助力を高めるための周知啓発を要望しました。(*)ローリングストックとは・・・普段の食事に利用する缶詰やレトルト食品などを備蓄食料とし、製造日の古いものから使い、使った分は新しく買い足して、常に一定量の備えがある状態にしておくこと。



教育未来分科会

岩崎 明子

2016年度は保育所や、子どもルームの受け入れ枠の拡大が図られましたが、子どもにとって居心地のよい環境にするためには課題もあります。保育の質を担保するため、十分な人材の確保を求めました。

また学校では、生まれた性が性自認と違う子どもや、医療的なケアが必要な子どもも、安心して過ごせる環境づくりがまだまだ不足しています。研修等で周囲への理解を広げることと、支援体制の確立を要望しました。



環境経済分科会

松井 かよ子

家庭ごみ指定袋（緑色）について「破れる」との声が寄せられました。強度が足りなかったとのこと。今年度から仕様が一部変更されています。



地産地消の観点から市街地に直売所を設けること、「食のギフトセレクション」で入賞した「千葉市のギフト」を主要駅で購入できるようにすること、など市内農産物と市民とをつなぐ取り組みについて、市の支援を求めました。

市民と議員の意見交換会		どなたでもどうぞ
11/ 2 (木)	10:30~12:30 ふくろう館	(中央区松波)
11/ 7 (火)	10:00~12:00 わかば事務所	(若葉区都賀の台)
11/ 8 (水)	10:00~11:30 ほっとカフェくるみ	(美浜区磯辺)
11/17 (金)	10:00~12:00 千城台コミュニティセンター	(若葉区)
11/20 (月)	10:00~12:00 若葉区みつわ台	(お問い合わせください)

● 岩崎 明子

スケボーやバスケットをする場所が無い！

街なかでのスケートボードや 3on3 バスケットは、迷惑行為と受け取られがちです。しかし実は市内に専用の場所がほとんどなく、彼らも困っているのです。

これらのスポーツは東京 2020 オリンピックの競技となり、今後競技者を目指す若者が増えるでしょう。市として



も競技者を育成する視点を持ち、またスポーツを核としたコミュニティ形成のために、市民参加で施策を考えるよう求めました。

「空き家予備軍」あなたの実家は大丈夫？

団塊の世代が 75 歳以上になる「2025 年問題」。社会保障費の不足だけでなく空き家問題も深刻です。現在 45 歳前後の団塊ジュニア世代で、実家が持ち家の人は「空き家予備軍」。今のうちに相続について話をするよう啓発するとともに、地域での利用をすすめないと、市内の空き家が倍増しかねません。

セミナーの開催や、市民活動で空き家を活用するための助成制度の創設を要望しました。



● 松井 かよ子

所有者不明の土地が問題に！？

法務局での相続登記では、所有者移転の手続きが行われ、固定資産税（市税）の納税義務者が変更されます。しかし、税や維持管理の負担感で「親の家を相続したくない」「子どもに継がせられない」「手続きが面倒だ」などの声も聞かれます。「物納」は市税ではできず、「寄付」も難しいケースが多いとのこと。今後、相続登記が行われない土地・家屋が増加し、まちづくりの妨げになる恐れもあります。土地の活用、相続、納税、エンディングなどの総合的な相談窓口を設置するよう求めました。

市民の声を受けとめて！

蘇我地区の石炭火力発電所新設計画ですが、地元説明会では「今でも粉じんが飛散し汚れる」「40 年前に



建設予定地に隣接する公園は、日頃からたくさんの親子に利用されています。

ここは公害指定地域に指定された。石炭火力は絶対に許せない」などの意見がありました。環境被害に苦しむ市民の切なる思いを真摯に受け止め、市として計画に厳しく意見するよう求めました。

議会トピックス

● 渡辺 忍

中央区役所が千葉市美術館からきぼーるに移転！

区役所と保健福祉センターが別の場所では不便などの理由で、以下が計画されています。

きぼーる内の**ビジネス支援センター**を千葉駅周辺へ移転

→中央区役所をきぼーるに移転

→千葉市美術館を拡張

中央区役所・ビジネス支援センターの移転費用と美術館の機能拡充を行うための施設改修などに掛かる設計業務の委託費を予算計上する議案が出され、賛成しました。

しかし、

■大きな変化を伴う事業であるにも関わらず、市民に対して説明不足

■保健福祉センターと区役所がきぼーる内にあることが利便性の向上につながるか不明確

■千葉市の文化施策や美術館の位置づけを踏まえた拡張方針が不明確等



オリンピックまでの美術館リニューアルを優先するのではなく、市民説明や意見聴取を丁寧に行い、市民が長く親しみを持てる施設になるよう、要望しました。議会では附帯決議（執行するに当たっての留意事項を示すもの）がなされました。

公民館を千葉市教育振興財団が運営することに

来年度より 5 年間、千葉市教育振興財団が指定管理者として市内すべての公民館（47 館）の管理運営を行うこと、及びその委託費についての議案が出されました。

本年 6 月第 2 回定例会での公民館への指定管理者制度導入議案には、社会教育の拠点施設である公民館の管理運営は市が責任を持って直営でおこなうべきと市民ネットワークは反対しました。しかし残念ながら、指定管理者制度の導入が決定されました。

今回は千葉市教育振興財団が社会教育施設である公民館の管理運営を行うのにふさわしいのか、千葉市教育振興財団と意見交換も行い、議会では教育委員会の姿勢を確認。結果、民間事業者や地域への委託などと比べ、現時点では、千葉市美術館の運営での信頼もあり、教育関連における外郭団体で、市の社会教育のあり方について相互に理解を深めやすい立場にある点などから判断し賛成しました。

官と民で共に学習し街づくりの原点となる場、市民の自発的な学びの場とするため、教育委員会の管理体制について、さらに社会教育主事の増員、公民館運営審議会の在り方の検討、研修体制の整備、司書資格を有する職員の公民館図書室への配置などの要望をしました。